

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成30年度分）

施設	名称	栃木市大平児童館
	所在地	栃木市大平町蔵井2007-1
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	学校法人しずわでら学園
	所在地	栃木市岩舟町静和1151-4
	主な業務内容	認定こども園しずわでら幼稚園、認定こども園ふじおか幼稚園 の運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	アンケート数		500件	654件
	利用者意見反映数		2件	2件
	施設案内掲示数		5か所	5か所
	苦情発生件数		0件	0件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25

指定管理者コメント	<p>①児童福祉法第35条第3項に基づき、児童を健全に育成することを目標として施設運営方針を定めました。また、事務室に掲示し職員が常に意識できるよう努めました。</p> <p>②施設の案内を玄関や各部屋に表示、またホームページでも案内することで、誰もが利用しやすいようにしました。</p> <p>③利用者満足度向上のため、夏休み中の利用者アンケート調査を119件、また各種イベントごとの参加者アンケート調査を535件実施しました。調査内容により2件のイベント追加等を実施しました。</p> <p>④意見箱を設置し、常に利用者の意見を把握するよう努めました。また、苦情処理の基本的なマニュアルを作成し、苦情があった場合スムーズに対応できるよう努めました。</p>
-----------	--

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 基本運営方針に基づき、目標達成に向けて効果的、効率的に管理運営を行っている」と評価する。 年1回の利用者アンケートとイベントごとのアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努め、運営改善の意識を持って取り組んでいる。 連携型の子育て支援拠点事業を実施したことで、幼児の利用者数が増加している。また、昨年度、好評であった幼児や産後のママを対象にした事業も継続しており、幅広い行事を展開していたことがうかがえる。
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		18,500人		20,385人		
	新規事業数		2事業		2事業		
	じどうかんだより発行部数		20,400部		20,400部		
	地域との協働事業数		5回		7回		
	協働事業参加者数		50人		31人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①年間の事業計画に基づき開館し、予定通り事業を実施しました。</p> <p>②毎月発行のじどうかんだよりに加え、ホームページ・広報誌・ケーブルテレビ・Twitter・Lineなどを積極的に利用し、幅広い周知を図りました。</p> <p>③児童館条例で定められている開館時間を延長することで、施設の利便性を高め利用者の拡大を図りました。新規事業として託児付のスキンケアレッスンなどを開催しママ達の楽しむ場を提供しました。</p> <p>④地域住民などの協力で、子どもフェスティバルや小学生対象の料理教室、また乳児向け親子教室のイベントなどを開催しました。子どもフェスティバルの規模縮小などでボランティア募集人数を減らすことになり、延べ人数も減少しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、おおむね事業が達成されたものと評価する。 ・Twitter・LINEなど、今どきの母親たちが入り込みやすいツールを使った周知は他の児童館の先端であった。 ・開館時間を延長したり、大平児童館の特徴である天体望遠鏡による観測行事を週末の金曜日に設定するなど、利用者のニーズに合った行事に積極的に取り組んでいる。 ・恒例の子どもフェスティバルの参加人数の減少は、近隣の幼稚園等のバザーが重なったため、開催時間を午後からに変更したためであった。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	見積もり合わせ実施数		5件		5件		
	施設修繕数		7件		8件		
	備品等更新数		7件		1件		
	事業費削減額		122,625円		260,309円		
	事業費削減率		5%		10%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅲ	0.6	9	Ⅲ	0.6	9
指定管理者コメント	<p>①指定管理業務に係る収支について専用口座を設け、出納責任者を2名配置し確認体制を強化することにより、正確な管理を行いました。</p> <p>②リサイクル品の使用によるイベント消耗品の削減、光熱水費の効率的な利用に努め、事業経費の削減を成功させるとともに、イベントや施設の充実を図りました。</p> <p>③業務委託に関して、経費削減やサービス向上等考慮し、委託業者との信頼関係も築くよう努めました。</p> <p>④安心・安全に考慮し、危険個所の修繕や備品の交換等を行いました。また、エアコンの清掃を職員や業者にて定期的に行い、温度管理を徹底することで、省エネにも力を入れました。修繕に関しては、細かい修繕が多く回数が増えましたが、修繕で済んだものが多く備品の更新は0件となりました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・指定管理業務に係る専用口座を設けるとともに、出納の確認体制を強化し適切な収支手続きを行っているものと評価する。</p> <p>・リサイクル品を使用しているイベント等における消耗品費の削減や、エアコンの清掃や温度管理の徹底による省エネに取り組み、経費節減を計っている。</p> <p>・定期的に施設や備品等の安全点検を実施し、修繕、交換等を行うなど、安心・安全な児童館運営に努めているが、施設の老朽化に伴い経費の削減という課題の取り組みが難しいことが懸念される。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			1日2名以上	1日2名以上	
	職員研修会開催回数			1回	1回	
	研修会参加回数			3回	6回	
	勤務時間数(1人あたり)			1日8時間以内	1日8時間以内	
	経常収支比率			100%	98%	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<p>①栃木市児童館条例並びに基本協定書に基づき、施設の運営に必要な職員配置を行いました。総括責任者として館長を1名配置、業務従事者すべての者が児童厚生員(保育士・幼稚園教諭等)の資格を有し、常に2名以上の人数配置をしました。</p> <p>②職員研修会を実施、また児童館連絡協議会主催の研修会にも進んで参加しました。次年度以降も積極的に参加したいと思います。</p> <p>③④健康保険料・厚生年金保険は私学共済保険に、また各種税金も適切に納めました。</p> <p>⑤経常収支比率は、30年度から人員の配置換えをしたため、人件費の法定福利費が思った以上にかかり、100%を少々下回りました。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の基本協定書に基づき、業務従事者すべての者が児童厚生員の資格を有するなど、適正な職員配置を行っている。 ・必要な研修会に計画的に参加し、職員の資質・能力向上を図っていけるようお願いしたい。 ・財務状況について、経営状況の悪化が懸念される。 					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全定期点検実施回数		12回		12回		
	事故発生件数		0件		0件		
	訓練実施回数		2件		12件		
	訓練参加者数		80人		107人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検に加え、月に1度定期点検を実施し、トラブルを未然に防ぐとともに、修繕を適期に実施しました。</p> <p>②緊急管理マニュアルを場面によって対応しやすいよういくつかのパターンに分けて作成し、すべての職員に配布し事務室に掲示することにより、的確な対応ができるよう努めました。</p> <p>③総合訓練の他、消火器等の点検を毎月実施しました。職員や利用者の防災意識を高めるものとなりました。</p> <p>④個人情報保護マニュアルに基づき、適切に管理しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全面に配慮した点検、修理を実施している。 ・危機管理マニュアルを策定し、マニュアルに基づく適正な対応が図られるよう、マニュアルを全職員に配布するとともに、事務室内に掲示するなどの取組みをしている。 ・避難訓練を実施し、職員及び利用者の防災意識の向上を図っている。 ・個人情報について、マニュアルに基づく適正な管理を行っている。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	9
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	86	86
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成28年度	平成29年度	平成30年度
資産総額	1,010,695,134	1,371,620,864	1,338,757,008
売上高	374,294,282	433,220,797	465,524,390
経常利益	65,388,516	328,645,805	△33,325,886
当期利益	65,388,516	328,645,805	△35,116,086
経常収支比率	118.1%	101.3%	93.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成28年度	平成29年度	平成30年度
経常費用	361,136,838	433,671,198	498,643,668
経常収益	426,525,354	439,455,003	465,317,782
経常収支比率	118.10%	101.33%	93.32%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

保育の充実を図るためのスタッフ増員により、想定以上の人件費がかかったため100%を下回った。今後配置換えなどで改善していく。